

概要版



第6期中原区地域福祉計画

福祉のこころ、人と人との橋わたしで 支え合える地域づくり

区民が必要とする行政情報や区内の住民組織、福祉活動団体や社会福祉協議会等の活動情報を橋わたしすることで、活力とうるおいがあり、区民が主体となってお互いに支え合える地域づくりをめざします。

区民一人ひとりが主役です!!

一人ひとりができること

地域みんなでできること

自助

パンジー体操に
参加して
健康を維持します!



町内会・自治会に
加入します!

防災訓練に
参加します!



困っている
ことがあったら
伝えよう。



ボランティア活動
に参加します!

ゴミ出しは
私たちに任せて!



互助

あなたの地区の
民生委員児童
委員です。



近所の人を誘って
子育てサロンに
行きます。

困っている人を
みんなで支えよう。



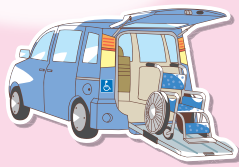
福祉のこころを つないで橋わたし

共助

医療サービスを
提供します。



介護サービスを
提供します。



民生委員児童委員活動を
支援します。

ボランティアを養成
したり、活動を支援
したりします。

福祉サービスなどの
情報を発信します。

区民が気軽に相談
できるようにします。



公助

必要な支援やサービスを提供します

中原区地域福祉計画はこんな計画

中原区は7区で最も人口が多い区で、若い年代が多く、子どもの数も増えています。一方、ひとり暮らし高齢者も増加傾向で、障害のある人や外国人住民の数も増えています。「中原区地域福祉計画」は、区民が抱える生活課題に区民自らが主体となって取り組み、さらに地域全体で支援するための計画です。



ボランティアの
人たちが高齢化
してきた…



子どもが増えている
地域ではどうしたら
子ども達の安全を見守り
できるかしら…



ひとり暮らし
なので大きな災害が
あったら
どうしよう…

策定にあたっては、以下の調査や地域の意見から得た中原区の現状・課題を踏まえ、内容を検討しました。

1 各種統計調査から

- 1年間で約2万2千人の転入者がおり、人口増加が続いています。
- 人口増加に伴い高齢者人口も増加しています。高齢者の5人に1人はひとり暮らしという状況です。
- 外国人住民人口が、令和元(2019)年までの5年間で約1.5倍となり、市内で2番目となっています。
- 障害のある人も増加しています。
- 児童相談所・区役所に寄せられる虐待相談や通告件数が増えています。
- 人口、世帯数は増加していますが、町内会・自治会等の住民組織加入率は低下を続けています。

2 川崎市地域福祉実態調査から

- 近所づきあいの程度は、「ほとんどつきあいが無い」が7区の中で最も高くなっています。
- 町内会・自治会加入していない理由については、「きっかけがない」が40.3%と、市全体より9.5ポイント高くなっています。
- どのような状況になれば、地域活動やボランティアに参加したいと思うかについては、「きっかけがあれば」が最も高く、次いで「興味を持てる活動があれば」がとなっています。
- 孤立死を防ぐためどのようなことが有効だと思うかについては、「地域住民による声かけ、見守り」が最も高くなっています。
- 保健や福祉に関する情報の入手方法については、「市の広報」が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」となっています。

3 地域で活動する方の意見(中原区地域福祉計画推進検討会議から)

- 町会長になってくれる方が年々減っており、町会長も高齢化している。仲間の誘い方を工夫する必要がある。
- 自分たちのまちを本当に良くできるのは住んでいる自分たちしかいない。まずは、このまちに住みたいと思う人を増やすことが一番の近道。
- みんなが抱えている課題を苦勞ではなく、楽しみながら取り組んでくれる人材が地域にいるのではないかな。
- 子育て世代の方は、行政に頼るといよりも、同世代で悩みを共有する場を求めている。
- 働いている世代や区役所等になかなか出向けない人たちが得る情報量が少ない。



① 基本理念

福祉のこころ、人と人との橋渡りで 支え合える地域づくり

② 基本目標・基本方針

基本目標 1

区民が主役の
地域づくり

基本方針

地域福祉を区民と共同で進めていくためには、取組を知り、参加する中で地域づくりへの意識を持ってもらうことが大切です。そのため、身近で参加しやすい健康づくりや子育て世代向けの交流の場づくりなどの取組を地域の主体と連携して行います。

- 1 誰もが参加できる健康・いきがづくり
- 2 ボランティア・地域活動支援
- 3 活動・交流の場づくり
- 4 地域で活躍する担い手づくり
- 5 地域の見守り・支え合いの推進
- 6 地域課題の解決に向けた支援の充実

基本目標 2

必要な支援やサービスが
的確に届けられる
仕組みづくり

基本方針

地域福祉に関する情報を区民に届けていくために、時期を捉えた適切な情報発信を充実させていくほか、困りごとを抱える人への早い段階からの相談支援を充実し、適切な支援を受けられるよう、必要な配慮を行います。

- 1 情報提供の充実
- 2 包括的な相談・支援機能の充実

基本目標 3

多様な主体が連携した
施策・活動の推進

基本方針

様々な主体間のネットワークを充実させることで、情報共有や地域包括ケアへの理解を深めてもらうとともに、連携して地域福祉活動を推進していくための仕組みづくりに取り組みます。

- 1 保健・医療・福祉の連携
- 2 区民・事業者・行政の連携・協働
- 3 社会福祉協議会との連携・協働

基本目標 4

地域参加の
仕組みづくり

基本方針

区民が自分らしく、生活の質や生きがいを追求しながらいつまでも生活できる地域を実現するために、予防の視点を持って、地域力の底上げに取り組みます。

- 1 地域マネジメントと地域コミュニティの推進

計画ではこんな取組をしています

基本目標 1

区民が主役の
地域づくり

- なかはらパンジー体操を通じた健康づくり・介護予防
- 中原区子育て支援推進事業 ～子育てサロンの開催～
- 小中学生の子育てサロンふれあい体験



パンジー体操で健康づくり



命の大切さ等を学ぶふれあい体験



認知症サポーター
養成講座



福祉健康まつり



子育てサロン

基本目標 2

必要な支援やサービスが
的確に届けられる
仕組みづくり

- シニアのためのおでかけマップの充実
- 中原区子育て情報(子育てガイドブックの発行、子ネット通信の隔月発行)の発信
- 高齢者・障害者に対する相談体制の充実



中原区子育てイメージキャラクター
「ミミ・ケロ」



高齢者福祉施設の
環境衛生維持管理読本



暮らしの保健室
(一般社団法人プラスケア)



おでかけマップ

計画ではこんな取組をしています

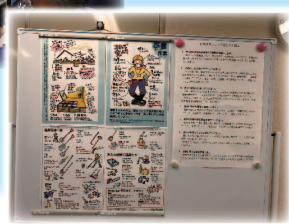
基本目標 3

多様な主体が連携した
施策・活動の推進

- 中原区在宅療養推進協議会との連携
- 中原区地域自立支援協議会の開催
- 中原区社会福祉協議会との連携



ボランティアセンターの
活動状況



災害ボランティアの
活動の様子



自立支援協議会



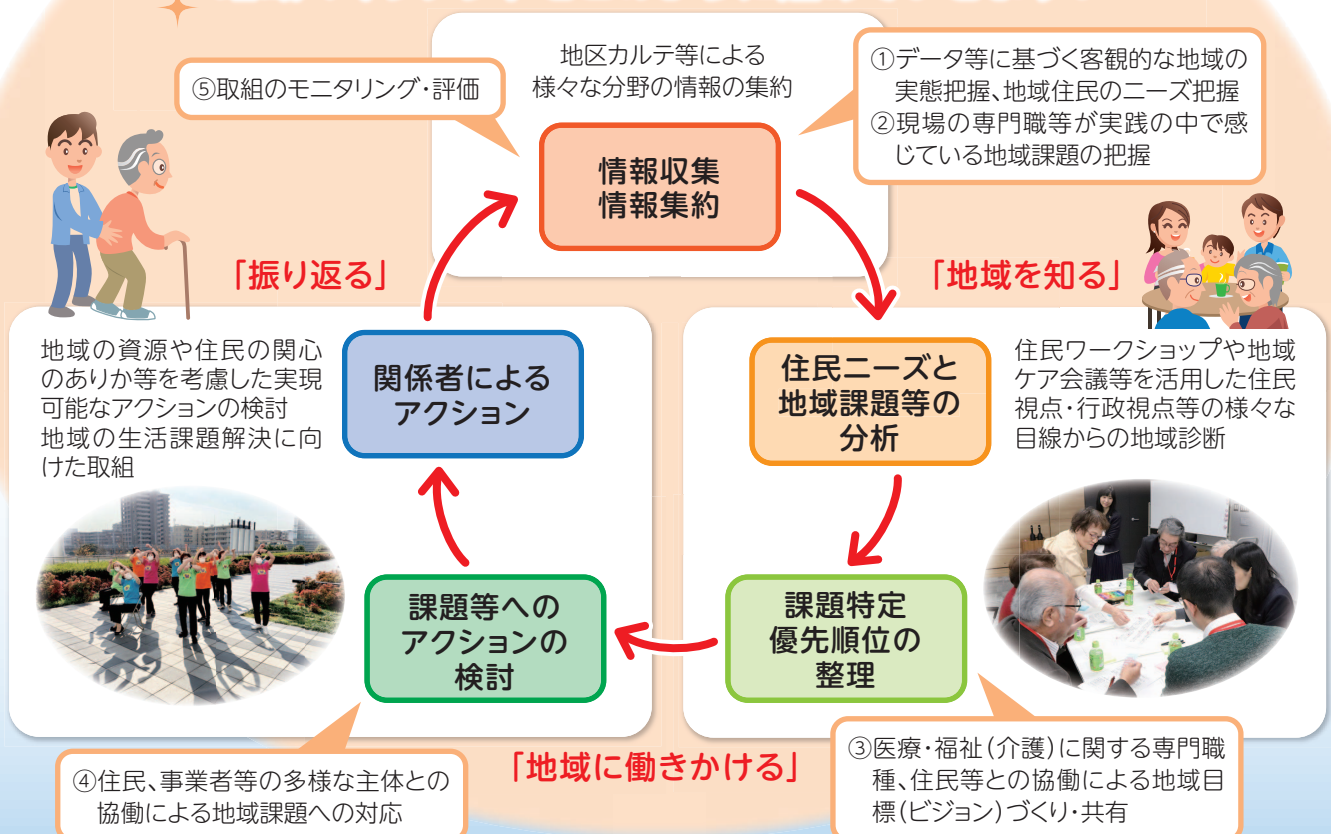
在宅療養推進協議会
セミナー

基本目標 4

地域参加の
仕組みづくり

- 地域包括ケア推進のための地域マネジメントの取組
- 地域コミュニティの推進

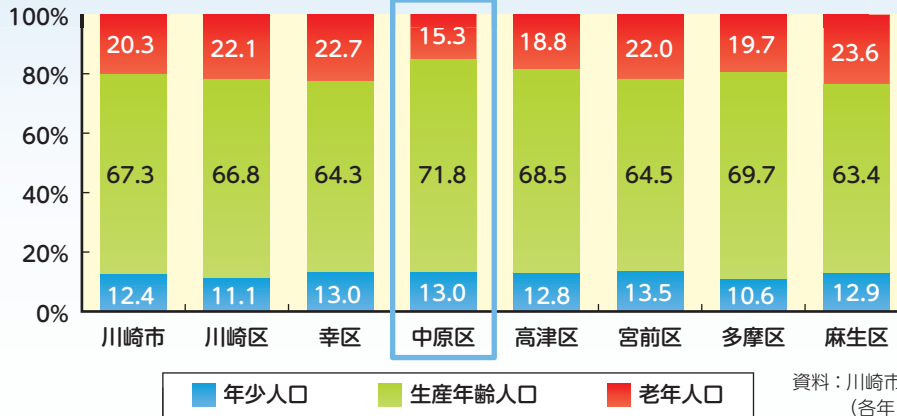
地域マネジメントをこのように進めていきます！



データで見える中原区

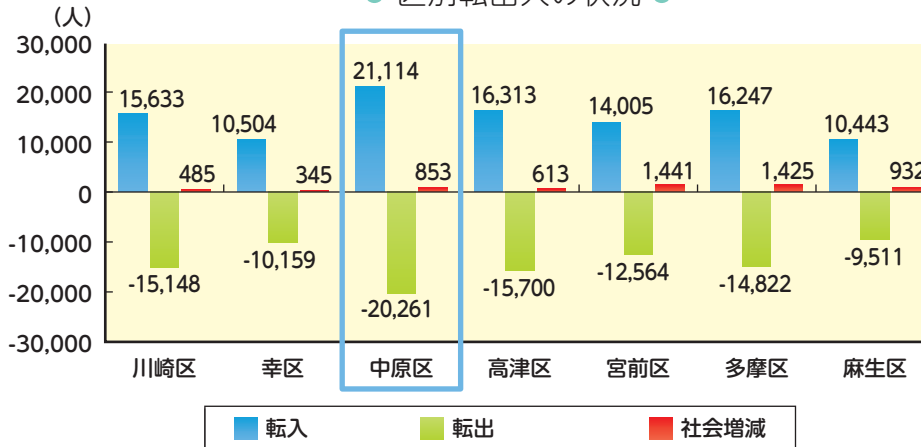
① 年少人口・生産年齢人口が多く、出生数・出生率も高い!

● 区別年齢3区分別人口割合(令和元年10月1日現在) ●



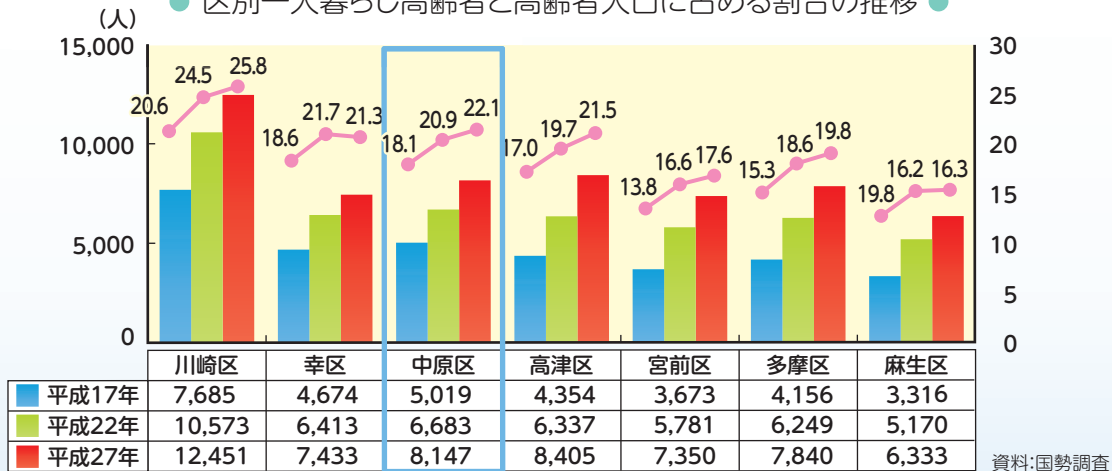
② 転出・転入の数がともに7区No.1!

● 区別転出入の状況 ●



③ 一人暮らし高齢者の増加も...

● 区別一人暮らし高齢者と高齢者人口に占める割合の推移 ●



発行/川崎市中原区役所 地域みまもり支援センター 地域ケア推進課

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245

TEL: 044-744-3239

FAX: 044-744-3196

URL: <http://www.city.kawasaki.jp/nakahara/>

令和3(2021)年3月発行